

補助事業番号 2023M-110
補助事業名 2023年度 福祉機器の整備 補助事業
補助事業者名 (福) 真生会

1 補助事業の概要

「ご利用者及び職員双方の安心で安全な介護支援の実現」のために、近年様々なICT関連の福祉機器が開発され進歩している福祉機器を導入することで、ご利用者の緊張緩和と身体的圧迫の軽減による生活の質の向上を目指すこと、また職員の身体的・精神的負担の軽減と職員に優しい職場環境の実現を目的として、離床支援機能付き介護用ベッドと見守り支援システムを導入する。

2 予想される事業実施効果

離床支援機能付き介護用ベッドの導入については、従来のベッドに比べて上下の可動域や頭と足の可動域が非常に大きいため、起床や就寝時の介助やオムツ交換等の体位変換等も非常にやりやすいことや、離床時のリスクの大きい方にもすぐに通知が来るため適切に対応できるなどの効果が見込まれ、また見守り支援システムの導入についても、フロア全体の目覚めや一部離床の状況がモニターで常時把握ができるため、きちんと眠れている方を起こさないことや夜間のトイレ介助等が適切にできるようになったことや、バイタル状況も同様に把握できるため、夜間急変時の対応や無呼吸・不整脈等の状況の早期把握による適切な対応ができる効果が見込まれるものと思われま

3 本事業により導入した機器

① 離床支援機能付き介護用ベッド (https://yume-shinseikai.or.jp/news/2023_jka)

ベッドに内蔵した荷重センサーがベッド上の荷重を検知するもので、ナースコールと中継ユニットで連動しており、ご利用者の起き上がりや離床をスタッフルームに知らせるものです。また、ベッドポジション操作も従来ものもより可動域が大きなものとなっています。



離床支援機能付き介護用ベッド



「特養夢」正面玄関入口



頭と足を移動させた状態



上下移動（上にした状態）

設置場所：【特別養護老人ホーム夢及び特別養護老人ホーム夢（短期入所）】

② 見守り支援システム (https://yume-shinseikai.or.jp/news/2023_jka)

「眠リスキャン」と呼ばれるもので、ベッド上のご利用者の状態をリアルタイムでモニタリングできるもので、「睡眠・覚醒・起き上がり・離床」などの状態が変わったときや、呼吸数・心拍数が設定した条件になったときにスタッフルームのパソコンや携帯端末に通知をするものです。



見守り支援システム（眠リスキャン）



「特養夢」正面玄関入口



表示モニター



表示携帯

設置場所：【特別養護老人ホーム夢及び特別養護老人ホーム夢（短期入所）】

③ 本事業に係る印刷物等 「お知らせパンフレット」

(<https://yume-shinsekai.or.jp/wp/wp-content/uploads/JKA.pdf>)



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法人 真生会 (シャカイフクシホウジン シンセイカイ)

住所： 〒706-0314

岡山県玉野市山田468番地1

代表者： 理事長 奥池 静雄 (リジチョウ オクイケ シズオ)

担当部署： 事務 (ジム)

担当者名： 事務長 田中 雅敏 (ジムチョウ タナカ マサトシ)

電話番号： 0863-43-9001

F A X： 0863-43-9007

E-mail： info@yume-shinsekai.or.jp

U R L： <https://yume-shinsekai.or.jp/>